

平成30年度 第2回豊橋市総合教育会議議事録要録

平成30年8月30日 開 催

豊 橋 市 教 育 委 員 会

第2回 総合教育会議	
日時	平成30年8月30日(木) 午後3時00分～4時05分
場所	市役所東館4階 政策会議室
構成員	佐原 光一 市長, 山西 正泰 教育長 朝倉 由美子 教育委員, 高橋 豊彦 教育委員 渡辺 嘉郎 教育委員, 内浦 有美 教育委員
事務局	古池 弘人 教育部長 駒木 正清 教育監 吉原 郁仁 総務部長 黒釜 直樹 財務部長 角野 洋子 教育政策課長 木下 智弘 学校教育課長 村田 直広 生涯学習課長 朽名 栄治 財政課長 ほか 5名 全13名
その他	傍聴人 7名

議 事 日 程

協議事項

空調設備の設置について

その他

今後の協議事項について

連絡事項 …次回開催日程 ・平成30年12月13日(木) 14:00～

(市長)

今日は、2回目の総合教育会議です。お手元の資料に従って進めていきたいと思しますので、よろしくお願いします。

協議事項はただ1点、「空調設備の設置について」でございます。時代の背景もありまして、突然ということになりました。事務局から説明をお願いします。

協議事項

空調設備の設置について

■教育政策課長 協議事項について資料説明

(市長)

まず、質問・確認したいことがありましたらお願いします。

(渡辺委員)

教室の温度を8校モニタリングしたということですが、学校を教えてください。

(教育政策課長)

細谷小、章南中、谷川小、大崎小、八町小、賀茂小、石巻小、二川中です。場所が偏ることがなく、東西南北になるように選定しました。

(市長)

調査した教室は何階でしたか。

(教育政策課長)

2、3階が多く、1階では測定していません。より暑くなる教室を調べました。

(渡辺委員)

どこの学校が一番暑かったですか。

(教育政策課長)

賀茂小です。

(渡辺委員)

学校間の差はどのくらいでしょうか。

(教育政策課長)

賀茂小が一番暑い時(36度)でも、33度までは上がっていない学校があります。3度はあったということになります。

特に23日以降は夏休みに入っていますので、実際は無人の状況で窓だけ開けて観測しています。空気が動いていないということもあり、外気温より高く出ているのかと思います。

(高橋委員)

7月はずっと28度を上回っているということですね。

(市長)

6月はどうでしたか。

(教育政策課長)

6月は涼しくて、だいたい28度を下回っていました。

(市長)

最初は、欧米のように7月から9月中旬まで夏休みにしたらどうかとも思っていたのですが、豪雨の時に避難している人たちの様子を見て、小中学校にクーラーのある部屋がないと困ると感じました。その後、7月に28度を超える日が多かったとわかり、これから暑い日が多くなると予想されるので、こういった提案をさせていただきました。

(渡辺委員)

暑い時期が来年も再来年も続くと思いますので、この環境で子どもたちを勉強させるということは問題があると思います。

(高橋委員)

事務局からいただいた論点について、普通教室に空調設備を設置するのは私も賛成です。特別教室については、具体的に事務局から提案してもらっていますが、一律に考えていいのかということもあると思います。例えば、図書室は重要なので、整備されないといけないと思います。

(市長)

科目によっては、暑い時期にはやらないというのはどうなのでしょう。例えば、家庭科の授業は夏にはやらないで6月までにはやるというのはどうでしょうか。

(教育長)

時間を動かすことはできますが、学級が多くなると難しいと思います。

(市長)

音楽室は、ブラスバンド部のある学校はクーラーがないといけないと思います。

(市長)

体育の授業をどうするかというのも今後の課題ですね。エアコンをつけると、運動場の授業はやらなくなってしまうという子も出てくるのではないのでしょうかね。

(渡辺委員)

体育館にエアコンを入れられるかということもありますね。

(市長)

市内の小中学校の体育館の構造では空調設備を設置することは難しい。

(渡辺委員)

体育館は運動をするところですから、暑い中で運動をすることは当然だめなんですよね。そうすると、夏の間は体育館は使えないものであるということになってしまうというのは大問題だと思います。

(市長)

豊橋市の学校の構造は断熱がよくないから、電気代等が膨大なものになってしまいます。

(渡辺委員)

現状はそうかもしれませんが、今後体育館を作る際にはエアコンのことも考えないといけないと思います。

(市長)

普通教室だけではなく、特別教室にも設置したいという一步進んだ議論をさせてもらっています。音楽室の他にも、図書室も調べ学習などで使うから必要ですね。

(教育長)

図書室は学習機能をもっていますので、よく活用しています。小学校では、音楽の専科教員が一日中いるので、空調は必要だと思います。

(渡辺委員)

音楽室は窓を閉じておかないといけませんか。

(教育長)

閉じておかないとうるさいです。

(教育長)

先ほど事務局から提案があった「授業で使う教室は設置対象」というのはよいと思います。

(市長)

お金がいくらかかるかはまだ分かっていません。この後、事務的にはどんなエアコンを入れるかというところになりますね。安くしようと思って家庭用エアコンの強力なのを入れたらどうなるかということをやったんです。ところが、今の家庭用エアコンは機能が進みすぎていて、人のいるところをめざして冷やすという機能になっているので、全体を冷やすという機能は非常に脆弱になっていますね。

(朝倉委員)

扇風機を外さずに一緒に使った方が、空気が循環するのでいいですよ。

(市長)

サーキュレーターとして使用できるのでよいと思います。

(市長)

室内機を1台か2台かというのも試してみましたが、1台でできないことはないです。しかし、もしもすごく暑い日が続いたり、子どもたちが廊下側の窓を開けたりしたら、1台ではカバーできない。故障した時のことを考えると2台の方が安心して使えると思います。

それでも、やはり夏休みを長くした方がいいのではないかなと今でも思っています。逆にエアコンを遊ばせておいてももったいないので、エアコンの入った教室を他に活用していく方法はないか。教育のあり方の視点も入れてもいいかと思います。

エアコンの話なぜこんなに急いでいるかというところ、国が30年度の補正と、31年度の予算のメインにするという可能性があって、乗り遅れると国の補助が厳しくなる。やらないところは支援しないとなるかもしれないので、みんな慌てたのだと思います。

(高橋委員)

今話を聞くと、普通教室は前提として最大という話と、特別教室はできることなら少し精査しながら入れたいということですね。

(市長)

学校で必要と決められている数だけは確保しよう。

(朝倉委員)

導入の順番・時期についてはどうですか。

(市長)

本日は、設置の範囲について意思決定をしておきたいと考えております。31年の夏までにつけないといけないのか、まず最初につけないといけないのは何かという議論は今後確実に必要になります。

(高橋委員)

低学年からということになるのでしょうか。

(市長)

豊川市は逆で、受験を控えている中学校から設置しています。豊橋は、保育園には入っています。保育園から上がってきた小学生が一番ダメージが大きいのではないかという議論もあります。

(高橋委員)

気温の話もありますが、少し通学距離のことも配慮して順番も考えることも必要かと思えます。

(市長)

他に何かありますか。

(高橋委員)

夏休みの期間の話も議論が必要だと思います。母親の立場の人の就業率の変化やいろんなことがあるので、ただ単に長くするのはどうでしょうか。社会の中で子どもに関わるいろんな人の影響などを配慮しながら慎重に議論していった方がいいかなと思います。

(高橋委員)

先生の健康のことも考えた方がいいと思いますね。

(市長)

エアコンがつくと、先生が教室にいる時間が長くなりますね。子どもたちの様子も見られるようになるので、その効果もあると思いますね。

(教育長)

それは大きいと思います。

(高橋委員)

やはり子どもを大事にするには、子どもを直接見ていただける先生のことも配慮することも併せて考えていただきたいと思います。

(市長)

普通教室と特別教室に必要とされる数は設置していくということで、設計や施工の体制を整えるための準備に入ります。それをご了解いただいて、どんな順序でつけていくかなどを通常の定例会になるかもしれませんが、報告いたします。

その他

今後の協議事項について

■教育政策課長 資料説明

(市長)

今の説明についてご意見がありましたらお願いします。

(渡辺委員)

「人口減少化に対応した学校のあり方」は継続でということになっていたと思うのですが、どうなるのでしょうか。

(市長)

内部でよく検討してから、報告させていただきます。

(市長)

奨学金の状況についてお話できるものはありますか。

(教育政策課長)

家政高等専修学校と豊橋工業高等学校の応募がないという状況です。

(市長)

学校教育課長、その他どうですか。

(学校教育課長)

豊岡中学校に新設された「みらい」では、よりよい初期支援ができています。夏休みに外国からの転入が9名あり、9月3日から「みらい」に入ります。それが8期生で13人からスタートします。2か月を終え、学校に戻ってからの感謝の声も大きいです。

(高橋委員)

これは、本来の学校に戻った時に日本語でのコミュニケーションが取れるという意味での効果が非常に高いという理解でいいですか。

(学校教育課長)

そうです。日本語指導を集中的にやったことで、効果がとても上がっている。

(高橋委員)

日本人の友達が普通にできるというのは、学校生活にとって全然違いますね。

(教育長)

楽しいですね。

連絡事項

・ 次回開催日程

平成30年12月13日(木) 14:00～